

# 5. 賃金の推移

表 性別賃金及び対前年増減率の推移（全国）

年	男女計		男性		女性		賃金 男女差
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
昭和 55 1974	173.1	6.6	198.6	6.6	116.9	6.4	81.7
56 1975	184.1	6.4	211.4	6.4	124.6	6.6	86.8
57 1976	193.3	5.0	222.0	5.0	130.1	4.4	91.9
58 1977	199.4	3.2	229.3	3.3	134.7	3.5	94.6
59 1978	206.5	3.6	237.5	3.6	139.2	3.3	98.3
60 1979	213.8	3.5	244.6	3.0	145.8	4.7	98.8
61 1980	220.6	3.2	252.4	3.2	150.7	3.4	101.7
62 1987	226.2	2.5	257.7	2.1	155.9	3.5	101.8
63 1988	231.9	2.5	264.4	2.6	160.0	2.6	104.4
平成 元 1989	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9	109.8
2 1990	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2	115.5
3 1991	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4	119.4
4 1992	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6	120.7
5 1993	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2	122.9
6 1994	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0	124.4
7 1995	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6	123.8
8 1996	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6	124.4
9 1997	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5	124.3
10 1998	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0	121.5
11 1999	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2	119.2
12 2000	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4	116.2
13 2001	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8	118.3
14 2002	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5	112.6
15 2003	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3	111.3
16 2004	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6	108.3
17 2005	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4	115.3
18 2006	301.8	-0.1	337.7	-0.0	222.6	0.0	115.1
19 2007	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2	111.5
20 2008	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4	107.6
21 2009	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8	98.8

賃金推移の表から言える事は、単純に30年前と比べ、賃金が70%アップしている。2000年から2002年にかけてピークをむかえているが、その後10年ぐらいは、僅かずつ減少傾向(ほぼ横ばい状態)である。ちなみにバブル時期は1989年頃からであった。男女の賃金差においては、30年前は、8万円程度でだんだん差が開き、10万、11万となり、1992~1998年頃にもっとも差が開き12万円程度、その後また下がる傾向にあり、2009年には10万円をきっている。この賃金推移に対して、物価の状況がどうなっているのかが気になるころではある。それは物価に関しての30年数字比較のところを参照いただければと思います。

※厚生労働省 賃金構造基本統計調査（全国）結果統計データより  
平成9年と平成21年調査結果より

